

行政評価シート(事後評価)

コード (32) 5-1-2	事務事業名 環境マネジメントシステム推進事業	所管部課 生活環境部環境保全課(旧環境防災部環境保全課)
-------------------	---------------------------	---------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	行政運営を通じた環境負荷の低減、環境保全事業の推進。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等			
	ISO14001の規格要求事項に基づいて、組織の環境方針を定め、著しい環境側面を特定したうえで、目的、目標及び実施計画に実施項目を設定し、環境負荷の低減及び環境保全事業に取り組む。			
事業開始時期	平成14	年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			1,828	2,255	2,546
財源	国庫支出金・都支出金	千円				
	地方債					
内訳	その他 ()					
	一般財源		1,828	2,255	2,546	1,955
所要人員(B)	人		1.00	1.00	1.00	1.00
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		8,328	8,185	8,161	8,161
臨時職員等賃金(C')	千円		0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		10,156	10,440	10,707	10,116
単位当たりコスト						
(E)=(D)/()	千円		#DIV/0!	197	157	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	実施計画の項目数	実績値	施策			53	68
		実績値	施策				
(指標の説明・数値変化の理由 など) 実施計画の環境負荷項目数及び環境保全項目数							
成果指標	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一 実施計画の項目 次の実施数	目標値	施策				68
実績値		施策		100	53	68	
二 環境目標の達成	目標値	施策				79	7月以降調査
	実績値	施策		7	46	集計中	
(指標の説明・数値変化の理由 など) (一次)実施計画の環境負荷項目及び環境保全項目の実施数 (二次)環境目標の達成数							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成18年度ISO管理職研修における講師より、自治体のISOの発展として「自己宣言(認証を返上し、市民、事業者のチェックにより監査を行う)」の方法があると説明があった。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市の中では10市が認証取得している。(平成19年4月末現在)
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	西東京市が行う事務及び事業によって排出される温室効果ガスを低減する地球温暖化対策実行計画事業

コード (32) 5-1-2	事務事業名 環境マネジメントシステム推進事業	所管部課 生活環境部環境保全課(旧環境防災部環境保全課)
-------------------	---------------------------	---------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	法律により策定が義務付けられている地球温暖化対策実行計画による環境負荷低減、環境保全への取り組みと重複した事務があるため、実行計画の温室効果ガスの削減に向けた各種の取り組みの中で環境マネジメントシステムを独自に運用する手法を検討する必要がある。
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	3			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	従来のマネジメント認証に係る過程など、本来の目的は達成されている。地球温暖化対策実行計画と重複する部分があるため、今後は従来の環境マネジメントシステムに代わり、新たな手法により環境保全の取組み過程の中で、地球温暖化対策を含めた検討が必要である。
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	環境マネジメントシステムについては、平成18年度の行政評価により、従来のシステムを見直し、地球温暖化対策も含めた枠組みの中で取組を検討することとなった。今後は評価結果を踏まえて、マネジメント手法の見直し作業を具体的に進め、地球温暖化対策も含めた環境負荷の低減に効果的な取組となるよう努力されたい。